

コロナワクチン接種

65歳以上の方にクーポン券発送 予約受付開始へ

4/16 市は、65歳以上の方に新型コロナワクチン接種のクーポン券等を発送しており、該当者に届き始めています。届いているものは新型コロナワクチン接種のお知らせ、接種券（クーポン券）、予診票、接種までの接種会場の一覧、予防接種についての説明書（ファイザー社製）の6枚。



新型コロナワクチン接種のお知らせより

- ・接種の順番 ①医療従事者等への接種が終わった後 ②高齢者（2021年度中に65歳に達する、1957年4月1日生まれた方）、③基礎疾患のある方、高齢者施設従事者等、④それ以外の方の順に接種を開始する予定です。
- ・接種回数 2回、標準的な接種間隔 21日～28日
*接種ワクチンの種類により、接種間隔が異なります。
- ・接種費用 無料（全額公費）市から接種に当たってお金を求めることはありません。*不審な電話にはだまされないようご注意ください。
- ・接種の開始時期と接種場所
予約受付の開始時期は4月28日（水）、接種の開始時期は5月中旬を予定しておりますが、ワクチンの供給量に応じて変更となる可能性があります。



ワクチン接種までの流れ 接種会場と予約方法

- A 協力医療機関 で希望する方は各医療機関にお問い合わせください。（同封の「主な接種会場一覧」をご覧ください。）
 - B 協力医療機関 宮西⇒一宮市立市民病院、木曽川町⇒一宮市立木曽川市民病院、千秋町⇒千秋病院
 - C 特設会場 貴船⇒一宮市中保健センター、三条⇒一宮市西保健センター、木曽川町⇒一宮市立北保健センター
- B・Cで希望する方は ①インターネット（市ウェブサイトから専用予約サイトにアクセスしてご予約ください。）
②電話 一宮市新型コロナワクチン接種コールセンター 0586-52-7755



市民の声を紹介します。

■放課後児童クラブの利用手数料が今年からまた上がりました（月額5,000円→6,000円）。来年はまた上がり7,000円になると聞きました。孫がお世話になっていますが、「あまりにも高いので来年からは利用するのをやめたいと思う」と娘が話しています。

市は、子育て世代を応援してほしいです。 （70代女性）



■放課後児童クラブの利用手数料が去年・今年も上がっており、利用者が1～2割減少していると思います。他のクラブでも同じような状況だと思っています。

市内でもコロナの感染が広がっている。児童クラブの職員がPCR検査を受けられるようにしてほしいと思います。スタッフが感染したら子どもに感染させてしまうことになり、毎日とても不安です。また、スタッフをもっと増やしてほしいと思います。

（ある児童館の館長）

■市内でもコロナ感染者がまた増え始めている。愛知県も20日から「まん延防止等重点措置」が適用された。いつになったら収束するのか？それが一番心配だ。政府は国民には自粛を押し付けるだけで検査も増やそうとはしない。自分ではマスク、消毒、換気に気を付けているし、外食も控えているのに。

■娘は市外の公立病院で看護師として働いている。先日コロナワクチン接種をして高熱でも、「解熱剤を飲んで出勤してほしいと病院に言われた」と娘は話していました。医療現場は大変ですね。 （60代女性）



■ワクチン接種のクーポン券が届き始めており、老人会の集まりで話題となっている。私はコールセンターに電話をしました。「私はいつからお願いできますか？」と聞いたら「答えがありません。ワクチンがありません。」との返事でした。ワクチン接種は今後どうなるのか？ （60代女性）

■「俺が」「私が」の知事さんよ！ 都知事として、府知事としてテレビにはよく出るけど、都民や府民には自粛だけを呼び掛けて、頭の中はオリンピックやカジノのことだけか？ コロナ感染から1年。専門家の声や他自治体の優れた検査の実践等を学ぶべきではないか？ 都知事は「東京へは来ないで」というが、オリンピックはやるのか？ オリンピックは断念して、コロナ収束に集中すべきと思う。

（70代男性）



コロナ禍は人災です。政府の思い付き・無策の対応で多くの方がいのちを落としています。

思い付きの学校休校や、緊急事態宣言も時短営業が主軸と、国民に自粛を求めるばかりで、有効な政策を行っていません。また、科学者の知見を重視しないなどの姿勢が、コロナウイルス感染症の拡大を招き、感染者数は50万人を超え、死者は1万人にとどこうとしています。今回のコロナ感染症は、まるで天災化のように言われていますが、これだけの拡大を招いたのは、自民・公明政権による人災と言わざるを得ません。



世界各国でコロナ感染を抑え込んだ実績があります！

政府は、アメリカなどに比べて、感染者数も死者数も少ないと比較して「よりました」かのように言いますが、逆にうまくいっている国の例を挙げることもありません。世界全体でみると、いくつもの国がコロナ感染症の抑え込みに成功しています。

いくつかの国の実例を紹介します。(※4/21時点)

国名	人口	感染者数	死者数	死者数(百万あたり)
アメリカ	3億2,820万人	3,180万人	56.7万人	1,728人
日本	1億2千万人	53.7万人	9,629人	80.2人
ニュージーランド	500万人	2,597人	26人	5.2人
オーストラリア	2,536万人	29,559人	910人	35.9人
ベトナム	9,762万人	2,791人	35人	0.36人

ニュージーランドでは、感染抑制対策を2020年2月には準備したが、2月26日に最初の患者が確認され、3月半ばには、市中感染が発生した。専門家からの意見を受けて、感染抑制対策ではなく、ウイルスを排除する戦略に切り替え、全土でロックダウンも含めた対応を行い、今も感染者が確認されるごとに厳しく対応しています。

ベトナムやオーストラリアは、第二波にピークがありましたが、共に国を挙げて感染対策を行って抑え込んでいます。

どの国でも共通しているのは、大規模検査や陽性者保護

コロナ感染を抑え込んだ各国に共通しているのは、しっかりと大規模検査を行って、無症状も含めた感染者をしっかりとつかみ、保護を行っていることです。

日本の感染者数は50万人を超え、死者数は1万人に届こうとしています。改めて、今からでも大規模検査の実施が必要です。日本共産党はいのち・暮らし第一の立場で、コロナ封じ込めへ取り組むことを求めています。

経済優先を改め、オリンピックに固執せず、国民のいのち・暮らし最優先に改めよ！

3月に国会議員と懇談を行いました。自民党の国会議員は、経済を回さないと自殺者が増えるなどの例を出し、経済活動を進める話をします。

立憲民主の国会議員は、細部の違いはあれど、感染対策を本気で行うと共に、医療・介護・福祉分野の減収補填などにも積極的な立場の方が多かったです。

国政でも市民の暮らし・いのち第一の政治の実現を！

7年8ヶ月続いた安倍自公政権、それに続く菅自公政権では、憲法も法律もないがしろにする政治が続いています。

日本学術会議の任命拒否問題ではいまだに説明がなく、法律違反・憲法違反の状況です。コロナの陽性確認者が減少すれば、GoTo事業の再開を検討するなど、いのちより経済優先しているのが菅自民公明政権です。

日本共産党は、みなさんの暮らし・いのち第一、憲法と法律を守る政治の実現に向け野党連合政権の樹立目指して全力で頑張ります。ご支援をお願いします。



日本共産党は暮らしのSOSに答えます。

コロナ禍でのお困りの声をたくさん耳にしています。暮らしでお困りの際は、ご相談ください。

専用ページはこちらから→



政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円